

子どもと 家族の絆 フォーラム

入場
無料



このフォーラムは鳥取県からの委託により開催します。

開催日時

9月13日(土)

午前11:30～午後4:30

(メインステージプログラム午後1:00～午後4:00)

会場

米子市文化ホール

手話通訳・要約筆記あり

講演

演題

午後1:30～

「がばいばあちゃんに
学んだ家族の絆」

講師

島田 洋七氏

演劇
公演

午後3:00～

関西芸術座公演「おかえり！」

お楽しみコーナー 午前 11:30～12:30



- ★ ポップコーン
 - ★ 綿菓子
 - ★ バルーンアート
- (数に限りがございます)

無料

- ★ 射的コーナー
 - ★ おもちゃの病院
- (お一人様1点限り)



プログラム

- 11:30 お楽しみコーナー
- 12:30
- 13:00 オープニング
- 13:30 島田洋七氏 講演
- 15:00 「おかえり！」公演
- 16:00 お楽しみ抽選会

メインステージ
プログラム終了後
お楽しみ抽選会
があります

託児コーナー
あります



主催：「子どもと家族の絆フォーラム」実行委員会

里親制度について広く一般の方に知っていただくため、里親・児童福祉施設・行政が協働して実行委員会を設立し、このフォーラムを開催します。フォーラムについてさらに詳細な情報をお知りになりたい場合は、フェイスブック「子どもと家族の絆フォーラム」をご覧ください。

お問い合わせ先

「子どもと家族の絆フォーラム」実行委員会事務局

電話 0857-22-4221
FAX 0857-27-0415





しま だ よう しち 島田 洋七 プロフィール

生年月日 昭和25年2月10日
出身地 広島県広島市&佐賀

漫才コンビB&Bとして1980年代の漫才ブームの先駆者となる。NHK漫才コンテスト、上方漫才大賞、読売テレビ・上方お笑い大賞など数々の賞を受賞し、『もみじまんじゅう』のギャグは一世を風靡する。現在は、タレントとしての活動の傍ら、講演、執筆活動にも精力的に取り組む。自分の人生論や経験、おばあちゃんとの生活などを元に語る講演会は開催4000箇所を超える。著書「佐賀のがばいばあちゃん」はシリーズ670万部を超え、韓国版、台湾版など世界各国に広がりを見せている。2007年には、フジテレビ系列で放映されたテレビドラマは好評を得、2010年にはパート2も放映された。また2009年春には、「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」で映画監督デビューも果たしている。



佐賀のがばいばあちゃん

代表著作
佐賀のがばいばあちゃん

昭和三十三年、広島から佐賀の田舎に預けられた八歳の昭広。そこでは厳しい戦後を七人の子供を抱えて生き抜いたがばい(すごい)祖母との貧乏生活が待っていた。しかし家にはいつも笑いが溢れ…。黒柳徹子、ビートたけしも感動した超話題作。「佐賀のがばいばあちゃん」シリーズの発行部数は670万部を超え、国内のみならず、韓国版、台湾版など世界各国に広がりを見せている。

関西
芸術座
公演

「おかえり！」

作/谷 広子 補作/宮地 仙 演出/藤田 千代美



あらすじ

沢田家のお父ちゃんとお母ちゃんは朝からソワソワと落ち着きません。高校を卒業して社会人となり、今は会社の寮生活をしている息子の清が一ヶ月ぶりに帰ってくるからです。久しぶりに顔を合わせる親子…照れくさそうに玄関口に立つ清。ニコニコと迎えるお父ちゃんとお母ちゃん。

その時、清が思わず口にした言葉は――

「コンニチハ!」「アホ! 自分の家に帰ってくるのに『コンニチハ』て云う奴がおるか」

実はこの沢田家のお父ちゃんとお母ちゃんは里親として何人もの子どもたちの面倒をずっとみてきており、清も里子の一人なのです。

清は改めて大きな声でお父ちゃんとお母ちゃんに言いました。

「ただいま!」

「おかえり!」

三人の弾けるような笑い声…でもこうして笑い合える時期を迎えるまでには色々なことがありました。

里親として里子として向き合ってきた三人。順調だけでは決してなかった日々。相手を思う心がすれ違ってばかりだったあの時。清もお父ちゃんもお母ちゃんも、それぞれの思いをかみしめながら当時を振り返ります。幼い時に自分の元を去っていった実の母や父のこと、この沢田家に里子に来た時のこと、そんな清の姿を幼い頃から見続けてきたお父ちゃんとお母ちゃんの胸によぎるものは――



お母ちゃん役
神宇知 薫

1982年、関西芸術座入団。「遙かなる甲子園」、「大阪城の虎」、「メアリー・スチュアート」、「じゃりん子チエ」等多数の公演に出演している。



お父ちゃん役
清原正次 (劇団大阪)

職場演劇サークルを経て1971年「劇団大阪」(地域アマチュア劇団)創立に参加。1998年、長く勤めていた損害保険会社を退職。劇団大阪の公演はもちろん他劇団の学校公演、本公演、プロデュース公演等多数に出演、現在に至る。



補作・演出
藤田 千代美

1967年、関西芸術座入団。数多くの舞台に出演する。ラジオ・テレビ等でも活躍中。宮地仙のペンネームで、作家としても多くの作品を執筆。又、最近では、演出も手がけ、新鮮な作品を産み出している。



清役
小川 和寛

1989年生まれ。初舞台はビジュアルアーツ専門学校大阪の卒業公演・成井豊作「ナツヤスミ語辞典」のアオタ役。関西芸術座附属演劇研究所54期生を卒業し、2011年4月に関西芸術座入団。



[会場アクセス]

米子市文化ホール

〒683-0043 鳥取県米子市末広町293

TEL:0859-35-4171 FAX:0859-35-4175

※JR米子駅より 徒歩 約2分



駐車場のご案内

ビッグシップ前、イオン米子駅前店の立体駐車場をご利用ください。駐車券は必ずお持ちください! 会場に設置してある駐車券処理機利用で、ご利用時間分の駐車料金は無料になります。